

平成30年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館
所在地	鹿屋市上高隈町3779番地1
指定管理者	名称： <u>大隅湖観光管理組合</u> 代表者： <u>岡本 孝志</u> 住所： <u>鹿屋市上高隈町1910番地3</u> 連絡先： <u>0994-45-2770</u>
モニタリングの実施経過	●月例報告（毎月） ●現地調査（毎月） ●その他（指定管理者との協議） ●事業決算の確認
担当部課（問合せ先）	市長公室地域活力推進課 電話0994-43-2111 内線3394

【モニタリングの総合評価】

鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館（以後：鹿屋市民族館）は、民間のノウハウを生かすために平成19年度から指定管理者制度を導入した施設である。

平成30年度は、市内外の既存イベントへの出店を積極的に行ったほか、カピックセンターなどの団体と連携し、鹿屋市民族館及び周辺を活用したイベントを共同で開催し、来館者増加に努めたが、前年度より652人減少した。

理由は、鹿屋市民族館の周知・啓発不足や大隅湖の湖側の道路の通行止めが続いている影響による大隅湖の四季（桜・アジサイ・紅葉・イチョウ）を楽しむ人が減少していることが考えられる。

管理業務については、管内清掃につとめ、来館者がいない時は展示室の照明を消灯する対応を行っている。維持管理は問題なく行われている。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・ 鹿屋市民族館の周知・啓発をするため、引き続き既存イベントへの出店に努めること
- ・ カピックセンターや外部団体と連携したイベントの開催費に努めること
- ・ 鹿屋市民族館独自のイベントを企画すること

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・ 備品の点検・管理を行うこと
- ・ 民族衣装や楽器などの買い替え計画を立てること
- ・ 関係団体と連携して、市内外で鹿屋市民族館の周知・啓発に努めること

(1) 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

① 合目的性・公平性・効果性

鹿屋市民族館は、入館料は無料である。隣接するカピックセンターと共に、国際交流の拠点として位置づけられ、連携して事業を行うなど効果的な運営がなされている。

(2) 業務内容

① 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

○事故件数0件、市民からの苦情は寄せられていない。

○異文化体験

アジアの民族衣装の試着体験や各国の玩具遊び体験、民族楽器を演奏することを通じて、来館者に異文化を体験してもらう。

○イベントの実施について（平成30年度）

イベント名	実施時期	来館者	実施内容
高峠つつじスタンプラリー	4/18(水) ～ 5/6(日)	702人	カピックセンターとの共同事業で、高峠つつじ公園でスタンプラリーを掲載したチラシを観光客に配布し、民族館へ来館した際にはスタンプを押し、最後はカピックセンターをまわって抽選会を行ってもらった。
丸山 茂樹民族楽器ライブ	5月17日(木)	23人	東京在住で、一ヶ月毎日ライブツアーとして、民族楽器を使ったライブを民族館で行った。
兵法タイ捨流演武	8/22(水)	89人	熊本県八代市に伝わる剣術で、兵法タイ捨流道場龍泉館館長山本隆博氏を招き、カピックセンターで実施されたALT研修に参加したALTなどを前に剣術を披露してもらった。今回、初めて行ったイベントであり、外国人の方に大好評であった。
千本いちようスタンプラリー	11/24(土) ～ 12/9(日)	341人	カピックセンターとの共同事業で、垂水市の千本いちようでスタンプラリーを掲載したチラシを観光客に配布し、民族館へ来館した際にはスタンプを押し、最後はカピックセンターをまわって抽選会を行ってもらった。
クリスマスイベント	12月16日(日)	108人	民族館の来館者がクリスマスソングを演奏するイベントで、親子バンド、高校生バンド、バイオリン奏者などが演奏した。 また、クリスマスリースの体験も行った。
センターフェスタ 世界の味めぐり	3月10日(日)	290人	カピックセンター主催の事業で、世界の様々な料理を食べることができるイベントで、民族館もスタンプラリーの一箇所として参加した。
大隅レイクサイドミーティング	3月16日(土) ～17日(日)	139人	大隅湖の多目的広場と駐車場に、全国のバイク愛好会が集ったキャンプ開催に協力した。 出店も多く、イベント来場者数は2日間で、391人であった。

○ 出店事業

周知・啓発活動を目的として、市内外の既存イベントに鹿屋市民族館の楽器や衣装、玩具等を展示し、イベント来場者に実際に気軽に楽器を弾いてもらったり、衣装を身にまottてもらったりした。

併せて、チラシ配布も行い、来館者増に努めた。

イベント名	日時	場所	人数
かのや農研まつり	4/21 (土)	市農業研修センター	100人
志布志 お釈迦祭り	4/29 (日)	志布志市お釈迦祭り会場	150人
講座体験デー	9/1 (土)	市勤労者交流センター	31人
ニコニコ子育て応援デー	9/11 (火)	市勤労者交流センター	48人
鹿屋市ふれあい福祉まつり	10/20 (土)	市勤労者交流センター	213人
おおすみ黒潮ミーティング	10/27 (土)	霧島ヶ丘公園	97人
鹿屋市秋祭り歩行者天国	11/11 (日)	市街地商店街	107人
かのや農研まつり	11/18 (日)	市農業研修センター	205人
冬期集中講座	12/19 (水)	市勤労者交流センター	20人
はじめてサンマルシェ	1/14 (日)	島津楽器 (志布志市)	107人
あすばるマルシェ	1/20 (日)	アスパル大崎	32人
勤労者交流センターフェスタ	1/26 (土)	市勤労者交流センター	69人
12回			1,179人

② 責任性・実行性 (施設の運営体制や組織)

地域住民やカピックセンターと連絡を図りながら、大隅湖観光管理組合の組織体制の下、管理運営責任者1人と職員1人、パート職員の2人を配置し、常時2人以上で来館者に対応できる体制を整えている。

③ 明瞭性・規律性 (適正な事務や経理)

月例報告書や年間実績報告書については、期間内に提出されている。経理事務に関しても、専任の会計担当者をあて適正に行われている。

④ 安全性 (安全管理・緊急時等の対応)

身障者や高齢者が来館の際は、玄関前まで自動車の乗り降りができるよう配慮している。
管理責任者や職員が定期的にパトロールなども行っている。
来館者の多い時期やイベント出店時には、3人体制で来館者の安全対策を図っている。
災害などの緊急時には、行政へ速やかに連絡できる体制が整っている。

⑤ 社会性 (環境等への配慮)

施設内外の定期的な清掃、用紙の再利用を心掛けるなど環境へ配慮した施設運営を行っている。

(3) 事業収支

① 経済性

アジア雑貨販売、喫茶コーナー、ビーズ作り体験などの有料事業にも取り組んでいる。

(4) 団体の経営状態

① 経営の健全性

鹿屋市民族館の収入については、指定管理料と収入確保の取り組みとして各種サービスを行い、支出についても概ね計画どおり実施されている。

施設概要調書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館		所管課：地域活力推進課	
所在地	鹿屋市上高隈町3779番地1		設置年月日：平成9年4月1日	
設置目的	市民に異文化体験の場を提供し、国際感覚の醸成と内外交流の増進を図り、地域国際化の進展に寄与する。			
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館条例			
施設の概要	設備の概要	敷地面積16,751.00 (㎡)		
		延床面積 434.60 (㎡)		
		《有料》		
		内 容	料 金	
		ビーズアクセサリー作り	館内作成 100円 作成キット 150円 購入 200円	
		世界の珈琲 喫茶コーナー	珈琲 250円 紅茶 250円 ごぼう茶 250円 芋スイーツ 300円 ジュース 150円	
	世界の雑貨販売	商品による 100円～		
		楽器のキット、スライムづくり など	体験料150円～	
	《無料》 入館料は無料			
事業概要	(1) 通年事業等：観光、研修等の多目的使用 (2) 定期イベント等			

2 経営分析評価指標

① 事業収支	1,230千円	④ 外部委託費比率	5.1%
② 利用料金比率	—	⑤ 利用者あたり管理運営コスト	1,134円
③ 人件費比率	57.3%	⑥ 利用者あたり自治体負担コスト	1,192円

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	310日	307日
開館時間	午前9時から午後5時	午前9時から午後5時
事業開催	<p>① 広報事業 民族館を多くの方に知ってもらうことにより来館者を増やす。</p> <p>② イベント事業 定期的にイベントを実施しリピーターを増やすとともに来館者の国際交流の意識向上を図る。</p> <p>③ 有料サービス事業 来館者が管内でゆっくりとくつろげ、満足度を上げるために実施。</p> <p>④ 支援事業 民族館を周知してもらうために、学校や国際支援団体へ民族館を活用して国際理解・国際交流や福祉につながる支援を実施する。</p>	<p>① 広報活動 ◎イベント出展による広報 ◎体験演奏出前講座による広報</p> <p>② イベントの実施 ◎スタンプラリーの実施（春・秋） ◎カピックセンターとの鹿屋イングリッシュキャンプの共同開催 ◎馬頭琴演奏会 ◎日本文化披露 ◎カピックセンターとの共同イベントの開催 ◎バイク愛好家とのイベントの開催</p> <p>③ 有料サービス ◎ビーズアクセサリ作り ◎珈琲等の提供 ◎世界の雑貨販売 ◎スライム作り体験</p> <p>④ 支援プログラム ◎幼稚園、学校、福祉施設、個人サークル等の団体に民族衣装の試着や世界のダンス、展示品クイズなどのプログラムを実施。 ◎民族楽器試奏体験</p>

4 利用実績

項目		実施内容（実績）
市内	大人	1,995人
	子供	1,464人
市外	大人	2,787人
	子供	1,329人
合計		7,575人

5 事業収支

(単位：千円)

項目	実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
委託料	8,364	9,032
サービス料収入	1,000	788
その他収入	0	1
収入計 (A)	9,364	9,821
人件費	4,920	4,920
光熱水費	960	945
通信運搬費	140	107
宣伝広告費	0	0
修繕費	50	72
管理費	1,505	1,451
消耗品費	150	102
事業支出	500	396
保険料	0	0
委託料	650	582
研修費	0	0
租税公課	427	0
雑費	62	16
支出計 (B)	9,364	8,591
収支 (A) - (B)	0	1,230

指定管理者自己評価表

令和元年 5 月 17 日

指定管理者 大隅湖観光管理組合

施設名 アジア太平洋農村研修村民族館

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	③・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・②・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・②・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・②・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	③・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	③・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・②・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・②・1
	15 事業収支は妥当であるか	③・2・1
総合評価 (所感)	<p>全体的に来館者数の落ち込みが見られ、特に鹿屋市の来館者が減少傾向にある。 来館された方がもう一度来館したいと思わせる物が弱いと感じている。 対策として鹿屋市内のイベントに多数出店参加をし、新規来館者の獲得と民族館の新しい使い方を提案した。 大駐車場を使ったイベントなどを行い、研修村全体のイメージを変える様に努めた。</p>	

【自己評価の採点基準】 「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。